

レソト北西地方における炭疽（たんそ）の流行

在留邦人の皆さまへ

WHOの発表によれば、レソト北西地方（南アフリカの自由州との国境付近）で炭疽（たんそ）が流行しているとのことで、2月27日～3月12日の間に、18頭の牛、8頭のロバ、7匹の犬が炭疽で死亡したことが確認されました。人についても、3名の死亡を含む300人の感染が疑われています。新聞報道では、他にも感染して死んだ牛を食べたために罹患して死亡したと思われる7例が報告されたそうです。

炭疽菌はテロに使われる可能性があるとして2001年の「9.11テロ」の後大騒ぎになったことがあります。

炭疽菌の芽胞（がほう、カビの胞子のようなもの）が付いた草を食べた家畜が感染し、敗血症を起こして死に至るものですが、出血により死体が黒く見えるので「炭疽（たんそ）」と呼ばれるようになりました。

人が炭疽菌に感染する経路としては、次のようなものがあります。

- ①感染した動物に触れたことにより、皮膚の傷から感染する。
 - ②感染した動物の排泄物の中にある芽胞（がほう）を吸って空気感染する。
 - ③感染した動物や汚染された食品を食べたことによって感染する。
- 適切な治療を受けない場合は、最終的には敗血症を起こして死に至ることもあります。

つきましては、流行が落ち着くまでは汚染地域には近づかないようにしてください。また、レソトにおいては、信頼のおけるレストラン以外では肉料理を控えるよう注意してください。

ご不明の点は大使館医務官へお問い合わせください。

平成24年5月24日

日本大使館領事班

電話:012-452-1500

FAX:012-460-3800

consul@embjapan.org.za

<http://www.za.emb-japan.go.jp>